

# 生命の海科学館の化石クジラ、新種認定！

平成 28 年 10 月、当館の化石クジラが新属・新種に認定され「**インカクジラ**」と命名されました！

保存状態がとても良い！  
ほぼ全身の骨が  
残っています

鼻の穴の周りの骨の形が  
新種の決め手にも  
なりました！

化石化しにくい  
クジラヒゲの痕跡が  
残っています！

骨同士が  
間接した状態のまま  
化石化

研究のために、  
頭骨の裏側に残っていた  
耳骨をとり出しました

クジラ  
と海とのちのつながり

生命の海科学館は、海のなりたちと生命の進化の歴史を紹介する科学館です。クジラは哺乳類でありながら、陸から海へかえって進化した生物です。生命の海科学館には、館のテーマを象徴する存在として、体長約8mのクジラの化石が展示されています。

どうして新種と  
わかったの？

これまで、この化石のクジラはナガスクジラ類の一種であるとされてきましたが、種類は特定されていませんでした。ところが、平成27年2月に館を訪れた国立科学博物館の甲能直樹研究員らにより新種の可能性がある指摘され、状況が一変します。同年6月、科学館で公開調査が実施され、甲能研究員らにより、化石の詳細な計測や耳の骨の剖出が行われました。その後研究が続けられ、平成28年10月、これまで知られていない新しいクジラであることが、正式に認定されたのです。化石のクジラは、新たに「インカクジラ」と命名されました。

平成27年の公開調査の様子

どんなクジラ??

インカクジラは、口の中にクジラヒゲという特殊な器官をもつ「ヒゲクジラ」のグループに含まれます。

頭骨の形から、ヒゲクジラの中でもザトウクジラやナガスクジラと同じグループ（おなかにアコーディオン状の構造をもつクジラ）であることが分かりました。骨の癒合の状態から、まだ大人ではないことが分かったため、大人のインカクジラはもう少し大きいと考えられます。

